



図書館たより

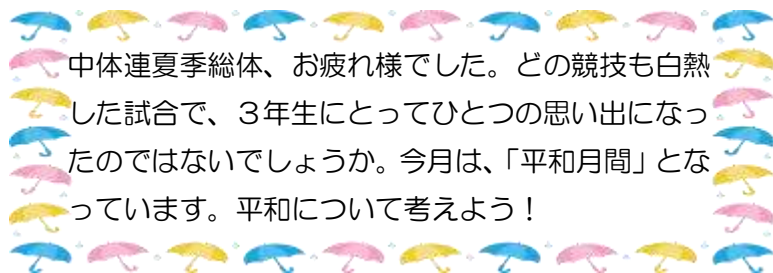
令和6年6月 発行3号

上野中学校図書館

【6月の読書目標】

読書を通して

平和について考えよう



中体連夏季総体、お疲れ様でした。どの競技も白熱した試合で、3年生にとってひとつの思い出になったのではないのでしょうか。今月は、「平和月間」となっています。平和について考えよう！

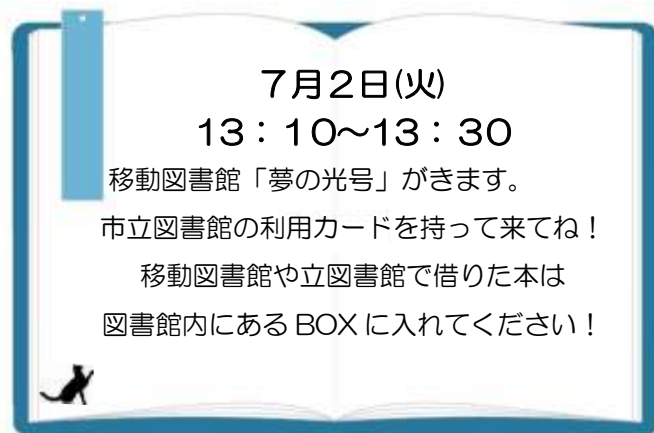
平和月間の取り組み

実施期間	活動内容	場所
6月3日(月) ～6月28日(金)	戦争や平和に関する本の展示	階段横 (移動展示)
6月10日(月) ～6月28日(金)	戦争パネル展	図書館
6月20日(木) 1校時～4校時	平和の礎 読み上げ集会	多目的 YouTube 配信
6月21日(金)	図書委員による 読み聞かせ	各教室
6月23日(日)	平和祈念式 (生徒代表3名)	未来創造 センター

6月23日は、「沖縄慰霊の日」です。今年も平和の礎読み上げ集会を行います。戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の大切さを改めて考えてみましょう！

学年別貸出統計(5月)

	貸出冊数	月目標達成率	貸出達成率
1年1組	61	67%	67%
1年2組	32	17%	28%
2年1組	106	71%	100%
2年2組	5	0%	10%
3年1組	21	7%	26%
全体	225	13%	56%



7月2日(火)

13:10～13:30

移動図書館「夢の光号」がきます。

市立図書館の利用カードを持って来てね！

移動図書館や立図書館で借りた本は
図書館内にあるBOXに入れてください！

今月のおすすめ本

雨の降る日は学校に行かない

相沢 沙呼 著

学校生活に息苦しさを感じている女子中学生の憂鬱とかすかな希望を描いた6つの短編物語。女子中学生ならではの学校生活「生きづらさ」がリアルに書かれているお話で悩み苦しんでる人におすすめで読んだ後は、心にぽっと明かりが灯り、「あなたは、ひとりじゃない」とそっと寄り添ってくれる一冊です。

毎月第3日曜日は

ファミリー読書の日

おとうさんのかさ

三浦 太郎 作・絵

雨の日に傘を持ってお父さんを迎えに行くメルシーちゃん。今回も道中で、次々に動物たちに出会い、傘の中に入れてあげます。シンプルで、可愛らしいイラストの絵本で、前回紹介した本の第2弾。そして第3日曜日は「父の日」です。市立図書館にあるので、読んでみてくださいね！

戦争や平和に関する本



『中村哲物語-大地をうるおし平和につくした医師-』

内戦と干ばつの中、病気や飢えに苦しむアフガニスタンの人々を救うために用水路を建設。砂漠となった土地に緑を蘇らせた偉大な人物の伝記。自分にも何かできることはないかを考える一冊です。*市立図書館にあります

『同志少女よ敵を撃て』

急襲したドイツ軍によって母や村人の命が奪われる。母を殺したドイツ兵や女性兵士に復讐するため、狙撃兵となった少女セラフィマ。そして、赴いた戦地で真の敵を目にする。復讐に駆られた少女が兵士となって戦場に赴く戦争小説です。



『さよなら、アルマ』

第二次世界大戦中に兵士として戦場に送られた一頭の軍犬の出征写真から生まれた、心優しい青年と愛犬アルマとの心の絆を描いたあたたかく悲しい物語。アルマのように多くの動物も戦争の犠牲となったことを忘れないでほしいです。



『せんそうとへいわ』

くらべてみると、見えてくる。「へいわのぼく」と「せんそうのぼく」では、なにが変わるだろう。比べてみると平和や戦争の違いが見えてくる。



『生きる 劉 連仁の物語』

第二次世界大戦下、日本に強制的に連行され労働させられた多くの中国人や朝鮮人がいました。危険で非道な強制労働から逃亡した劉連仁は、戦争が終わったことも知らずに13年間も逃げ続けました。実際にあった出来事を描いた物語で



『晴れたらいいね』

看護師の紗穂は大きな地震で気を失い、目が覚めるとそこは昭和19年マニラで従軍看護婦の雪野サエとなっていた。終戦まであと一年。命を奪い合う戦場で、命を救う使命を背負い懸命に守っているのはその先の未来！戦争が失うものの大きさと命の大切さを伝えてくれる一冊です。*市立図書館にあります



『永遠の〇(ゼロ)』

浪人生として日々を過ごしている青年が、特攻隊として命を落とした祖父と第二次世界大戦の軌跡をたどる。祖父ことは、特攻で亡くなったこと以外何も残されていなかったが、元戦友たちから話を聞くうちに祖父が天才パイロットで、異常なまでに死を恐れ、生に執着する姿だった。*市立図書館にあります

